

令和4年度  
赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会 第2回幹事会  
<記録概要>

開催日時 令和4年7月5日(火) 14:00~15:45

会 場 赤羽会館 大ホール

出席者 協議会幹事:11名

オブザーバー:4名

事務局:(北区まちづくり推進課)坂本、猪越、荒川、梶川、福島、柏崎

コーディネーター:都市企画工房 金内、山中

=====

## 1. 開会

(会長挨拶)

皆さんこんにちは。会長の尾花です。本日はお忙しい中、また大変暑い中、赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会幹事会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

今年度2回目の幹事会では、前回に引き続き本地区の将来のまちづくりについて、グループワーク形式で議論を深めていきます。今回、事務局の方で趣向を凝らしたプログラムを用意していると聞いていますので、有意義なワーキングができるよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、会の終わりには事務局から今後に関する新たな提案もあるとのこと。では進行について事務局に一任いたします。

## 2. グループワーク

(コーディネーターより今後の流れと前回の振り返りの説明)

まず、この幹事会での検討の流れを確認する。今年度の協議会の活動方針として、再開発をはじめとしたまちづくりの進捗に合わせて、将来のまちづくりについて一層具体的な検討を広くまちの方の意見を集めながら進めていくということがあり、懇談会等を開催しながら行うことになっている。そこで、懇談会等で意見をもらう上では、協議会としてももう少しイメージを深めた提言案などをお示ししてはどうかということで前回から検討を始めている。前回は、その手掛かりとして、まちの皆さんは赤羽のまちをどう捉えているのか、過去に行ったグループワークなどを参考にしながら、赤羽ってどんなまちなのか、赤羽をどんなまちにしたいかという視点で、提言などを考えていくテーマになりそうなことを、掘り起していただいた。そのテーマごとに、目指すまちのイメージを、いろいろな立場、角度からさらに膨らませてみようというのが今回の内容である。次回以降は、膨らませたイメージを具体的にしていく。赤羽のまちのどこで何をしたら良いのか、まち全体との関係性にも注意しながら考えて、懇談会でご意見を聞く素材をつくるという流れで進めている。

前回、「赤羽」ってどんなまち? 「赤羽」をどんなまちにしたい? という視点で、〇〇のまち赤羽、△△なまち赤羽、◇◇があるまち赤羽などと言うとしたらどんなことがあるか、ということをも3つ

のグループに分かれて話し合った。そのご意見を、事務局でまとめた結果、大きくは、「新しい魅力を発信するまち赤羽」「誰もが暮らしやすいまち赤羽」「みどりとうるおいのあるまち赤羽」の3つのテーマが多かった。もちろん重なるイメージもある。これ以外の「公共施設」「安心・安全」「交通」は、どのテーマの場合でも考えておく必要があるベースとして念頭に置くべきではないかということで、別に出している。

(コーディネーターよりグループワークの説明)

今回は、前回から整理した、3つのテーマそれぞれについて、掘り下げてイメージを膨らませてみたい。「誰もが暮らしやすいまち赤羽」では、主に今の赤羽を見て、良いところはより良く、そうでないところはどこで、今後どうしたら良いかを、「みどりとうるおいのあるまち赤羽」では、周辺の荒川や緑地のイメージについて、まち全体でもっと活かしていくとしたら、どんなことがありそうかを、「新しい魅力を発信するまち赤羽」では、将来の赤羽についてなど、時間軸を意識してみるといったことを、ひとつのテーマごとに各グループで意見を出し合ってもらい、その都度、ファシリテーターが簡単にまとめた意見をお互いに聞いて、次のテーマに進むという形で行う。

今回は、できるだけ色々な視点から考えてみるために、皆さんにキャラクターを設定したカードを引いていただき、その人物になり切って、その人の立場・視点で考えていただく。これまではご自身の視点からご意見を頂いていたが、今回は、例えばテーマごとになり切った役の人にとって暮らしやすいまち、みどりとうるおいがあるまちとはどういうまちなのか、そこでどう過ごしたいか、どんなことをやってみたいかを考えていただく。カードの中の人には、赤羽に住んでいる人だけではなく、赤羽の外の人のキャラクターもあるが、そういう人から見て、赤羽に来る理由は何か、どういう場所があると嬉しいか、どうしたらもっと来てくれるようになるか、どこかのまちが人気あるのはどういうことがあるからだといいように、その人になり切って考えてみてください。ちなみに、この中のキャラクターについては、なりきる役割がよりイメージしやすいように、性別、年齢、職業などのプロフィールを設定している。イラストも、性別や年齢を思い浮かべやすそうなものを用いているが、性別や年代を変えたりし、イメージが膨らみやすいように、アレンジしていただいても構わない。

ここで少し心がけていただきたいことは、意見を言う時に、「これがない・あれはダメ」ではなく、「こうしたい・こうするといい」など、できるだけ前向きな言葉で言ってほしい。また、他の人の意見を否定するような「そんなのダメ」とか「それは違う」などはやめてください。ただし、他の人の意見はどんどん膨らませてください。最後に、たくさんの意見を出し合うため1回の発言時間は30秒を目安にしたいと思う。

(グループワークを2班に分かれて実施)

(「誰もが暮らしやすいまち赤羽」A班まとめ)

高齢者にとっても、中高生にとっても安全安心な段差のない道路が良いという意見があった。せっかく赤羽台に東洋大ができたので、コラボできるようなコミュニティ的なものや中学生との教育のプログラムができると良いという意見があった。お年寄りも含めてコミュニティを醸成できるようなハード面・ソフト面的なイベントが欲しいという意見があった。高齢者にとってはバスなどの利便性や憩いの場所、公園がほしいといった意見があった。

(「誰もが暮らしやすいまち赤羽」B班まとめ)

赤羽のまちには体育施設、運動施設、荒川、商業といった各拠点があり、結びつけられるようにすれば、誰もが暮らしやすいまちになるという意見があった。昨今のSNS 映えするようなおしゃれなまちにしていくことによって若者が集まり、誰もが暮らしやすいまちになるのではないかという意見や、映画館・文化施設がまとまることによって、誰もが暮らしやすいまちになるのではといった意見や、既存施設を生かしたまち、商業施設や運動施設など、様々な施設があることを生かしたまちにしていくことが良いのではという意見があった。女子大学生役からの意見で、素敵な男性と出会うまちが良いという意見があった。

(「みどりとうるおいのあるまち赤羽」A班まとめ)

散歩をしたりするのに段差がないまちが良い、犬の散歩をするにしても公園の中には入れないので道もそうだが、広場的なものがほしいという意見があった。まちの中に貝塚や道標などの歴史的なものがあるので、それらに案内板を設けることや、北区のウォーキングマップがあるが、赤羽バージョンを作って、いろいろな人がまち歩きを楽しめるコンテンツを作ってみればどうかという意見があった。公園や商店街にキッチンカーを呼ぶとか、土日にテントを出して、ものを食べたり寛げたりする空間があれば良いという意見があった。荒川の方に行くとなるとランニングをする人が楽しんでいるが、女子高生役の意見としては荒川で寛げる場所があまりないという意見があり、整備してもらえると嬉しいという意見があった。

(「みどりとうるおいのあるまち赤羽」B班まとめ)

赤羽には荒川も赤羽公園もあって、様々なみどりがあるが、それを活かさざるまちづくりが必要なのではないかという意見を頂いた。うるおいということで、普段から休めるようなカフェがあるとか、寛げるような広場があれば、若者たちや子育て世代が休憩したりでき、そういったまちになれば良いのではという意見があった。せっかく荒川があるのにそこに施設がないことで、キャンプができなかったり、火を使えなかったりするため、できるようになれば良いという意見があった。荒川の使い切れていないところを活用し、赤羽公園もリニューアルすることによって、若い方も高齢者の方も利用しやすい、みどりとうるおいのあるまちづくりができるのではないかというご意見があった。昨今バスケットとかスケボーなどが流行っているが、そういった施設もあったほうが良いという意見があった。

(「新しい魅力を発信するまち赤羽」A班まとめ)

スポーツと文化芸術が足りていないのではという意見があった。スポーツとしては、せっかくオリンピック、パラリンピックの施設としてトレセンがあるのにPRが足りないことや、赤羽駅から行くとなるとトレセン通りからかなり遠いのにあまり表示が無いという意見があった。赤羽はマラソン大会などがあってマラソンの聖地という風に言われているが、皇居周りのようにシャワーを浴びる施設が全然なくて走りづらいところがあり、充実させていくと良いのではないかという意見があった。文化面でいうと、雨でも遊べるMAPを作っている児童館があるが、権利の問題があり、紙媒体でしか発信ができていない。昔北区と川口市で綱引き大会があったそうで、また開催したら面白いのではないかなという意見や、荒川を挟んで同じ日に花火大会をやるとか、川口市とコラボすることで、魅力を発信できるのではないかという意見があった。既に交通の結節点として交通の要所にはなっているが、エイトライナーやメトロセブンといった新交通をしっかりと整備することで、

より交通の利便が上がり、更に魅力を発信できるのではという意見があった。

(「新しい魅力を発信するまち赤羽」B班まとめ)

今ある赤羽の本当の良さ、コミュニティ、ポテンシャルを発信できるまち赤羽にしていきたいといった意見があった。デジタルサイネージや写真を使い、発信できたら良いといった意見をいただいた。若者ばかりに目を向けるのではなく、高齢者も楽しめるようなまちが良いのではといった意見もあった。公園と小学校の在り方について色々考えたうえで、魅力ある赤羽にしていきたいといったご意見があった。最後に印象的だったのが、喫茶店の文化があるという魅力を発信できたら良いというご意見があった。商業地ならではの安心・安全を生めるまち、公共施設の再配置によって新たに生まれ変わる新しいまち赤羽といったご意見があった。

(コーディネーターよりグループワークのまとめ)

皆さんお疲れさまでした。テーマごとにファシリテーターがまとめたが、言い残したことなどはないか。今日の成果を事務局でとりまとめます。

### 3. その他

(事務局より今後に向けた提案)

1点目は、今回のグループワークを、協議会幹事以外の一般の方を対象に実施してみてもどうかということである。コーディネーターからの説明にもあったとおり、幹事会での次回以降の取組みも含めて、まちづくりゾーニング構想のブラッシュアップを進め、今年度の活動方針に従って年度内にまちづくり懇談会の開催を予定している。懇談会で、幹事会がまとめた案にだけご意見ご要望をいただくよりは、たとえば、普段協議会に関わっていない方で赤羽のまちづくりに興味のある方を募り、協議会活動の先入観無しに同じワークショップをしてみた結果と併せて意見交換をしてみると、地域の方々の参加機会を一層確保することにもなり、懇談会をより有意義なものにできるのではないかと考えた。まだアイデア段階なので、本日ご賛同をいただければ、次回幹事会までに企画書としてまとめ、ご提案したい。

2点目は、新たなグループインタビューについてである。過去に地域の皆様に対して実施したが、赤羽台に東洋大の新キャンパスがオープンし、連携部会も設置したことから、東洋大の学生さんを対象として、新たに実施してみてもどうか。数千人単位の学生たちを、駅東側に呼び込むヒントになるような意見が得られる可能性もあり、本日ご賛同いただければ、早速、東洋大関係者に働きかけてみたい。

以上2点について事務局から提案させていただくのがいかがだろうか。

質疑応答 (○：参加者、▲：事務局・コーディネーター)

○時間だけがどんどん過ぎているようで、すごく不安だ。第一地区の開発も具体的に進んでおり、第二・第三地区、赤小のことなど、様々な問題があり、我々の努力が反映されているのか最近不安ではない。それをなぜ感じたかということ、昨年の台風19号の時に荒川が氾濫するのではという情報が入り、1階の物を2階へ運んだ。現実水害や災害が身近に来ているのに、我々が行っていることが具体的に進行していないのではないかと感じる。同じことの繰り返しを感じる。具体的に反映できるような方策のようなものを作りたい。出来上がってからどうしますかというのを目の前で見ると感じる。一体何をやっていたのかと言われるのも嫌だし、年寄り



や女性になりきるなど、色々勉強させていただいたが、ぜひその点を考慮してほしい。

▲まずご提案した、2点の関係でいうと、皆さんで決めていただいた年度の活動方針により、地域の方々に関与していただいて、分厚い成果としてまとめたいという趣旨のものなので、そこはご理解いただければと思っている。そのうえで今お話いただいた具体的なものだが、今回もご紹介したが、この後の幹事会の流れとして、沢山でたアイデアをいよいよまとめていくのが次回以降かと思っている。私達も与えられた時間をかなり意識して検討を進めていこうと思っているので、改めてご意見いただいたと認識している。もう1点、今防災の話が出たが、新しい赤羽の魅力というところで、つい数年前に荒川が氾濫する可能性があるということで、より顕在化したなかで、低地部にある東口の今後の在り方というところでは、ご意見が出てくるかと思っていたが、発表を聞いた中では出てこなかった。しかし、そういった指針も今のゾーニング構想には入っていないので、これからより具体的に検討していくなかで、大規模水害にも強い赤羽ってどうしたら良いのだろうかという検討もしていけたら良いのではと思っている。スピード感をもって、協議会の活動を進めていきたいと思っているので、ご理解いただければと思う。

○第一・第二・第三地区とビルが建つこと前提に話していると思うが、そのことに対してPTAや赤小側から何か意見が出ていないか。

▲協議会のメンバーには赤羽小学校や赤羽岩淵中学校のPTAの方々も入っているが、事業の進捗については、その場に来られなくても伝わるよう、学校側と相談しながら進めている。校長先生を通じて聞いている限りでは、直接的に再開発や日影などについて保護者の方から心配の声が集まっているとは聞いていないが、一方でちゃんとご説明しきれているのかということではまだ足りないと思っており、事業者含めて、より計画が具体的にになっていくタイミングで、折々PTAの役員の方々とも相談しながら、しっかりご説明していきたいと思っている。

○マンションの高さをもう少し低くしてくださいとか、そういう要望は何も出ていないのか。

▲第一地区でしか、具体的な再開発ビルの計画は明らかになってはいないが、それに対して建物の高さだとか具体的な計画を修正するご要望をいただいているという認識はない。計画を容認していただいていると読み取って良いのかというのは分からないが、ご理解いただくよう、事業者が最優先に努力すべきことだが、私共も事業を関知しているので、しっかり学校と協力しながら、PTAや地域の方々にご理解いただくよう、努めていきたいと思う。事務局からの提案2点についてはいかがだろうか。

○（首肯）

▲まずはご賛同いただけたということで、一般の方向けに行うグループワークの企画書を次回幹事会までに取りまとめるとともに、事務局から東洋大にコンタクトを取り、学生を対象としたグループインタビューを企画、実施したいと思う。

（事務局より次回幹事会の開催案内）

議論が温かいうちにとということで、次回も概ね1ヶ月後、会場等の都合により日程決め打ちで大変恐縮だが、8月10日（水）とさせていただければと思っている。また、これまで開催時間を14時からとしていたが、夜の方がご都合の良い幹事の方もいらっしゃるのので、今回は試しに19時開始を提案するが、いかがだろうか。

質疑応答（○：参加者、▲：事務局・コーディネーター）

○予定が入っているので出られない。

▲他に夜時間だとか都合悪い方いらっしゃるか。

○個人的に夜だと都合が悪い。

▲日にちと時間を含めて再検討させていただく。夜は基本的に難しいということか。

○できれば昼間が良い。

▲再検討をし、改めて幹事の皆様と区議会議員の皆様には周知をさせていただく。

=====

※この記録概要は、幹事の方々のみに送付をしています。

【事務局】

北区まちづくり部まちづくり推進課

担当：荒川、梶川、福島、柏崎

電話：03-3908-9154

FAX：03-3908-2244

◆当日の様子

